春光懇話会会報

Wave21

2025.11
No.194

特集　わが社のスポーツ活動



www.shunko.jp

トップインタビュー

春光会22社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。
今回は三菱ＨＣキャピタル　久井社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。



三菱ＨＣキャピタル
代表取締役 社長執行役員　久井　大樹

生年月日　1962（昭和37年）年4月27日
出 身 地　福岡県
最終学歴　東京大学／カリフォルニア大学バークレー校
略　　歴　1985年　株式会社三菱銀行 入行
2011年　株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行 米州CIB部長
2012年　同 欧州本部欧州営業部長
2014年　同 執行役員 インド総支配人
2016年　同 常務執行役員 審査担当
2019年　同 専務執行役員 営業第一本部長
2021年　三菱ＨＣキャピタル株式会社 副社長執行役員
2023年　同 代表取締役　社長執行役員（現職）
趣　　味　イタリア旅行

――幼少期のお話をいただければと思います。

生まれは福岡県で、かつて炭鉱地域だった田川というところです。なぜか両親は私をカトリック系の幼稚園に入れたのですが、最近、この幼稚園に通っていたというお客さまに2人もお会いする機会があり、奇跡ですねと驚き、3人で同窓会をやりました。いまも年2回ぐらいのペースで会っています。その後、小学校3年生ころに、父の仕事の関係で福岡市内に引っ越しました。福岡市に移った後の小学校時代はけっこう強い野球チームでショートを守っていました。そのころはプロ野球選手になりたいと思っていました。

――中学生、高校生のころはいかがでしたか？

中学、高校は、久留米の一貫教育の私立校でした。自宅から1時間半くらいなので、通えたのですが、思い切って寮に入り6年間は寮生活でした。毎年部屋替えがあり、中学生のときは、6人部屋から5人部屋、高校に入ると4人部屋になって、大学受験を控えた3年生では2人部屋になりました。規律は厳しくて、学校から帰ると夕食後、7時から10時までは一斉学習で、その後中学生は11時、高校生は12時に消灯といった具合でした。

――大学生活はどのようなものでしたか？

大学は東京大学で専攻は経済学部です。高校でもやっていたので入学してすぐにサッカー部に入りました。大学のサッカー部はけっこう厳しかったですし練習時間も長く、サッカー漬けでしたね。4年間、試験前以外に勉強した記憶はほぼありません。1年、2年のキャンパスは駒場ですが、練習グラウンドが本郷で遠いため、入学後間もなく駒場近くに借りていたアパートから本郷に引っ越しました。すると、必要最低限の語学以外まったく授業に行かなくなってしまいました。3年、4年は本郷がキャンパスだったのですが、それでも授業にはあまり行きませんでした。よく卒業できたなと思います。

――そのような中での就職活動はどのようなものでしたか？

当時は夏が就職活動期間でした。秋には企業が内定を出していたので、それに向けて就職活動をしなければならないのですが、大学サッカーで一番のメインは秋のリーグ戦でした。ですから4年生の夏はほぼ1カ月半、千葉県の検見川にある合宿所に住み込みで練習に参加していましたので、就職活動はあまりできませんでした。当時はサッカーのほうが大事だったのです。そうは言っても就職はしなければならないので、合宿所からサッカー部のOBが在籍する会社をいくつかあたって、最終的に銀行にしようと決めたのです。『銀行にはさまざまな業種のお客さまがいらっしゃるので、いろんな方に会えるな』という単純な理由でした。

銀行に就職したサッカー部OBの中で、面接してくれた方が当時の三菱銀行と日本興業銀行のお2人でした。私はサッカー部の副キャプテンでしたが、実はキャプテンもこの2つの銀行に絞っていました。そして、キャプテンが先に日本興業銀行に決めたため、私は三菱銀行にしたのです。いま考えると、けっこういい加減な決め方だったなと思います。三菱銀行の先輩は、私が1年生のときの4年生、ポジションも同じで合宿でも同じ部屋になることが多く、とても尊敬していた方でした。

――入社後についてお聞かせください。

1985年4月1日に入社して1カ月ほどの研修の後、配属された東京都大田区の蒲田支店で4年近く営業に携わりました。最初の約2年は個人の営業、後の約2年は法人の営業を担当しました。地域的に中小企業、町工場の多いところで、まさに“半沢直樹”のイメージですね。

その後、海外赴任を命じられニューヨーク支店に4年間勤務し、さらに会社の海外留学制度で、2年間カリフォルニアの大学に行かせてもらいました。都合6年も海外にいたので、そろそろ日本に帰る予定だったのですけれども、ちょうど卒業のタイミングで、三菱銀行と東京銀行が合併することになりました。そして、それぞれの銀行が、買収したアメリカの銀行を所有していたため、これらも合併させることになったのです。卒業式間近の日に会社から「そのまま待機してください」と電話があり、結局そのままサンフランシスコでの合併作業に加わりました。ちなみに、日本の銀行がアメリカの銀行を合併させるということは初めてのケースだったと思います。結局2001年までの13年間アメリカで勤務することになります。途中でもう日本の人事部から忘れられているかと心配になりました。同期の仲間からも「現地採用になったのか」という電話があったぐらいで、異例中の異例だったようです。

その後、一度日本に戻ったのですが、日本にいたのは約8年で、今度は自ら希望して海外赴任となりました。まずニューヨーク、それからロンドン、最後はインドに行き、合計7年間ほど各国で責任者として駐在し日本に戻りました。そして本社でしばらく役員を務め、2021年に当社に来ました。そういう意味では、銀行員時代の3分の2ぐらいは海外だったので、日本で働いた期間は比較的短いですね。

――その間の大きなターニングポイントはどのようなものでしたか？

最大のターニングポイントは、最初の蒲田支店時代ですね。担当していた町工場のお客さまで、ご主人が社長、奥さまが専務と経理その他すべての担当という会社での出来事です。ある日のこと、その奥さまの機嫌があまり良くなく、そのうち「久井さん、あんた英語はしゃべれるの」と聞かれて、「いえ」と答えたら、「これから英語のひとつもできないと役に立たないわよ」と怒られたのです。そのときは何でそこまで言われるのかと思いましたが、なぜかその言葉が心に残っていました。そのころ銀行でノー残業デーが導入され始め、毎週水曜は早々に仕事を終える必要があり自由になった時間を何に使おうかと戸惑っていたとき、その言葉を思い出して週1回の英会話学校に通い始めました。そうするうちに、会社で2カ月間集中的に英語学校で学べる制度ができ、すぐに手を挙げました。その後、ニューヨーク支店に赴任となり、それが私のキャリアで海外が長くなった契機となったため、叱ってくれた奥さまにはすごく感謝しています。



大学サッカー部時代



スポーツジムにて

――週末はどのように過ごしていらっしゃいますか？

とにかく体を動かすようにしており、お客さまとゴルフをすることもありますが、週末は大体走っています。社会人になってしばらくしてから始めたので、もう40年近くになります。あとはスポーツジムでパーソナルトレーナーについて、トレーニングしています。

――若い人たちへのメッセージをお願いします。

日ごろから言っているのですが、若いうちはとにかく失敗をして、失敗をしたらなぜ失敗したのかということを学んで、次に生かしてほしいと思います。失敗を恐れずにいろんなことに挑戦してほしいなと思い、社内でも常に伝えています。

あとは、グローバルな感覚を養ってほしい。いまはインターネットで、世界のさまざまな情報を瞬時に得られますが、できれば積極的に海外に行って実際に現地を自分の目で見て、その場所の空気を吸って体感することも大切です。もし難しければ海外の方とコミュニケーションをとる機会をつくるだけでもいいと思います。世界での日本の存在や立ち位置を正しく理解することはこれからの時代とても大切になってくると思います。

令和7年度　会員総会

9月1日(月)ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において開催されました。
会員会社111社の役員など、約180名の方々が出席されました。



ご挨拶

春光会・春光懇話会会長
JX金属会長
村山　誠一

村山でございます。本日はご多用のところ、また大変お暑い中、令和7年度春光懇話会会員総会に多数の方々にご参集賜り、誠にありがとうございます。

このたび前会長、川村様の後を引き継ぎまして春光会会長および春光懇話会会長の大役をお引き受けすることになりました。川村前会長におかれましては、2019年9月のご就任以来、6年にわたり春光会および春光懇話会の会長を務められ、両会発展のために多大なご尽力を賜りました。川村様のあとを引き継ぎ、この歴史と伝統を誇ります春光懇話会がさらなる発展を遂げられますよう努力して参りますので、どうか会員の皆さまの絶大なるご協力をお願い申し上げます。あらためまして川村前会長のご功績に深く感謝申し上げます。

さて、昨今の社会情勢を見ますと、いわゆるトランプ関税につきましては、会員各社の皆さまも直接的か間接的かはさておき、大いに振り回されてきたのではないかと存じますが、未だに最終的な形や影響を見通すことは難しく、引き続き注視してゆかなければならない状況であります。また、世界各地での紛争も一向に収まることはなく、中東やウクライナにおきましても、停戦あるいは和平交渉に関する報道を見聞きは致しますものの、未だに着地点の見えない状況が続いております。

では、国内はどうかと言いますと、まずは大阪万博が残すところ1か月半となり大いに盛り上がっているという状況の一方で、政治につきましては、昨年の衆議院選挙に続き、7月の参議院選挙においても政権与党が過半数割れに追い込まれた結果、非常に不安定な政局となっております。また、いわゆる令和の米騒動に代表される物価高や慢性的な人手不足などは、トランプ関税と相まって日本経済発展の足かせにもなっておりまして、先行き不透明感が強い中、会員各社の経営課題はまさに山積している状況ではないでしょうか。

従いまして、このような時であればこそ、会員各社の連携を強化することは有意義であろうと思うわけでありますが、そうであれば、この春光懇話会の役割はますます重要ということであります。当懇話会は情報交換と親睦の場でありますが、ここでの活動が契機となり、会員各社の経営改善や業容拡大の一助になれば幸いでございます。

さて、本日、4つの地域の春光懇話会会長にもご出席をいただいております。遠路にもかかわらずご出席いただき誠にありがとうございます。現在、春光会会社は22社、春光懇話会会社は111社、会員会社の従業員数は約27万人、地域懇話会は国内52地域、海外28地域に広がっております。春光懇話会グループはその規模と国内外地域への広がりにおきまして、わが国有数の企業グループであると言えます。

皆さまにおかれましても、当懇話会の歴史を共有の上、諸活動に積極的に参画され、活性化のためにご支援ご協力頂ければ有難く存じます。私も、当懇話会の趣旨を踏まえまして、皆さまのご意見を十分にお聞きしながら、より良い懇話会づくりに努めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、本日ご参集の皆さまのご健勝と会員各社のご繁栄を祈念して、就任のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。



会員総会

＜次第＞

―総　会―

1. 挨　拶　春光会・春光懇話会会長
ＪＸ金属　村山会長

2. 紹　介

【春光会】

会　長	ＪＸ金属	村山会長
副会長	日立製作所	東原会長
副会長	日産自動車	エスピノーサ社長
幹　事	損害保険ジャパン	西澤顧問
幹　事	三菱ＨＣキャピタル	柳井会長

【春光懇話会】

会　長	ＪＸ金属	村山会長
副会長	日立製作所	東原会長
副会長	損害保険ジャパン	西澤顧問
副会長	三菱ＨＣキャピタル	柳井会長
副会長	日立建機	平野会長

【春光会新会員】

日立製作所	徳永社長
日産自動車　坂根ストラテジーアクセラレーションチーフ	
ENEOS Xplora	忍田社長
ニッスイ	田中社長
UDトラックス	伊藤社長
日立ハイテク	高木社長
SOMPOひまわり生命保険	久米社長

【地域春光懇話会会長】

秋田春光懇話会	秋田日産自動車	三浦会長
埼玉春光懇話会	UDトラックス	立川関東地域統括責任者
石川春光懇話会	サッポロビール北陸支社	林支社長
大阪春光懇話会	カナデビア	桑原社長

―懇親会―

3. 乾　杯　春光会幹事・春光懇話会副会長
三菱ＨＣキャピタル　柳井会長



乾杯　春光会幹事・春光懇話会副会長
三菱ＨＣキャピタル　柳井会長

春光懇話会役員　2025年9月現在



会　長　村山　誠一
ＪＸ金属会長



副会長　東原　敏昭
日立製作所会長



副会長　西澤　敬二
損害保険ジャパン顧問



副会長　柳井　隆博
三菱ＨＣキャピタル会長



副会長　平野耕太郎
日立建機会長



懇親会

春光会会員名簿　2025年11月現在

会　社　名	役　職	氏　名
㈱日立製作所	○会　長 社　長 名誉会長	東原　敏昭 徳永　俊昭 川村　隆
日産化学㈱	会　長 社　長	木下　小次郎 八木　晋介
SOMPOホールディングス㈱	社　長 特別顧問	奥村　幹夫 二宮　雅也
損害保険ジャパン㈱	社　長 ◇顧　問	石川　耕治 西澤　敬二
日産自動車㈱	○社　長 ｽﾄﾗﾃｼﾞｰｱｸｾﾗﾚｰｼｮﾝﾁｰﾌ	Ivan Espinosa 坂根　学
ENEOSホールディングス㈱	社　長 名誉顧問 名誉顧問 名誉顧問	宮田　知秀 大田　勝幸 内田　幸雄 松下　功夫
ENEOS㈱	社　長	山口　敦治
ENEOS Xplora㈱	社　長	忍田　泰彦
ＪＸ金属㈱	◎会　長 社　長	村山　誠一 林　陽一
㈱ニッスイ	社　長	田中　輝
日油㈱	会　長 社　長	宮道　建臣 沢村　孝司
㈱ニチレイ	社　長	大櫛　顕也
カナデビア㈱	社　長	桑原　道
㈱プロテリアル	社　長 副社長	Sean M Stack 村上　和也
UDトラックス㈱	社　長	伊藤　公一
日立建機㈱	会　長 社　長	平野　耕太郎 先崎　正文
三菱ＨＣキャピタル㈱	◇会　長 社　長 特別顧問	柳井　隆博 久井　大樹 川部　誠治
㈱日立ハイテク	会　長 社　長	飯泉　孝 高木　由充
日産車体㈱	社　長	冨山　隆
ロジスティード㈱	会長兼社長 副社長	中谷　康夫 西川　和宏
SOMPOひまわり生命保険㈱	社　長	久米　康樹
㈱NIPPO	会　長 社　長	吉川　芳和 和田　千弘

［注］　◎会長　○副会長　◇幹事

春光懇話会会長・副会長　2025年11月現在

	会　社　名	役　職	氏　名
会　長	ＪＸ金属㈱	会　長	村山　誠一
副会長	㈱日立製作所	会　長	東原　敏昭
	損害保険ジャパン㈱	顧　問	西澤　敬二
	三菱ＨＣキャピタル㈱	会　長	柳井　隆博
	日立建機㈱	会　長	平野耕太郎

事業協議会会員名簿　2025年11月現在

会　社　名	会　員　名	
㈱日立製作所	代表執行役 執行役専務CMO 長谷川　雅彦	執行役常務Deputy CHRO 瀧本　晋
日産化学㈱	取締役常務執行役員 松岡　健	執行役員 川島　渡
損害保険ジャパン㈱	専務執行役員 中尾　公哉	常務執行役員 矢﨑　幹人
日産自動車㈱	ｽﾄﾗﾃｼﾞｰｱｸｾﾗﾚｰｼｮﾝ ﾁｰﾌ 坂根　学	理事渉外担当役員 後藤　収
ENEOSホールディングス㈱	常務執行役員CCO 荒木　信之	
ENEOS㈱	常務執行役員 布野　敦子	常務執行役員 荒木　信之
ENEOS Xplora㈱	副社長執行役員COO社長補佐 吉良　仁秀	執行役員CHRO 山口　奏子
ＪＸ金属㈱	常務執行役員 諏訪邉　武史	執行役員 川口　義之
㈱ニッスイ	取締役専務執行役員 山本　晋也	執行役員 井上　浩志
日油㈱	常務執行役員 梅原　尚也	常務執行役員 鳴海　一仁
㈱ニチレイ	取締役上席執行役員 竹永　雅彦	取締役上席執行役員 田邉　弥
カナデビア㈱	専務執行役員 大嶋　幸一郎	常務執行役員 峰村　健
㈱プロテリアル	常務CSPO 増田　久己	CMO 石川　桂
UDトラックス㈱	バイスプレジデント 岡部　秀敏	バイスプレジデント 金丸　隆宏
日立建機㈱	執行役CHRO 澤田　誠	執行役CDIO 遠西　清明
三菱ＨＣキャピタル㈱	常務執行役員 佐藤　泰弘	常務執行役員 後藤　浩司
㈱日立ハイテク	代表取締役 専務執行役員 谷口　昌弘	取締役 常務執行役員 高橋　伸彰
日産車体㈱	専務執行役員 鈴木　渉	常務執行役員 齊藤　義雄
ロジスティード㈱	執行役員（CMO） 川北　剛史	業務執行役員 材木　和彦
SOMPOひまわり生命保険㈱	常務執行役員 小林　伸行	執行役員COO 荒木　真悟
㈱NIPPO	取締役 常務執行役員 小林　直樹	執行役員 内山　尚典

新製品・新商品　紹介

油化産業

ディーゼル車におけるDPFの詰まり対策に～「DPFリフレッシュ™」のご紹介

■DPFとは

ディーゼル車にはディーゼルエンジンより排出される排気ガス中に含まれるPM（煤などの粒子状物質）が大気に放出されないように、それらを捕集して燃焼処理するための装置としてDPF（ディーゼルパーティキュレートフィルター）が搭載されています。

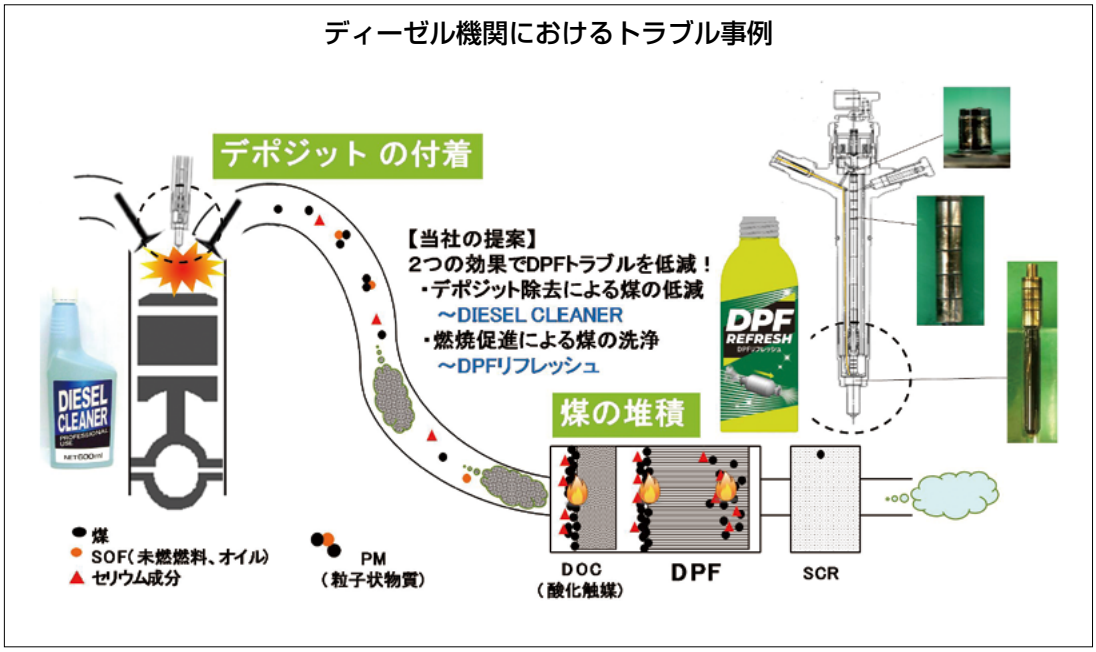
■何が問題なの？

しかし長時間のアイドリングや、宅配便など発進／停車を頻繁に繰り返すような場面ではDPF内に大量に煤が堆積することがあります。その場合、それらの燃焼処理が追い付かなくなることで、車両を停止させての手動再生処理や、整備工場への入庫を余儀なくされ、配送業務の遅延につながることがあります。

■当社からのご提案

当社は燃料タンクに投入するだけで、DPF内に堆積した煤の燃焼処理を促進させることでこのようなトラブルを未然に防ぐ「DPFリフレッシュ™」を上市しました。

これまでDPFの問題を抱える100台以上のトラックにてモニター評価をお願いした結果、実に85%以上の車両にて「効果を実感しました。」「不具合の再発が減りました。」とのお声を頂きました。





■インジェクターの汚れ対策には

また、インジェクターの汚れ対策として「DIESEL CLEANER（ディーゼルクリーナー）」も好評販売中です。DPFリフレッシュ™との併用使用により、インジェクターに付着するデポジットのトラブルとあわせての対策をお勧めします。

問合先　第2機能材営業部　☎03(5791)4123
http://www.yuka-sangyo.co.jp/

ニッセイコム

大阪府済生会富田林病院の業務効率化とガバナンス強化を実現
人事給与システム「GrowOne 人事SX／給与SX」の導入事例を公開
～診療報酬改定時も自社で設定可能 勤怠システム連携で複雑な給与計算も自動化～

ニッセイコムは、大阪府済生会富田林病院における人事給与システム「GrowOne 人事SX／給与SX」の導入事例を公開しました。

2016年の社会福祉法改正により求められている経営組織のガバナンス強化に対応するとともに、診療報酬改定時の手当追加や勤怠管理システムとの連携による手作業の削減を実現。これにより、業務効率が大幅に向上し、職員の採用活動や教育など、病院運営における重要業務への注力も可能となりました。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会富田林病院　NISSEICOM

インタビュー全容はこちらからご確認いただけます。
URL：https://www.nisseicom.co.jp/growone-sx/case/tondabayashi.html

■人事給与システム「GrowOne人事SX／給与SX」について

入社から退職までのさまざまな人事情報を一元管理し、モチベーションアップやワークライフバランスなど、多様な給与計算のニーズにも柔軟に対応します。

製品紹介ページはこちら
https://www.nisseicom.co.jp/growone-sx/

GrowOne 人事SX　GrowOne 給与SX

情報アラカルト

ENEOS Xplora

本社を麻布台ヒルズに移転しました!

当社は、2025年9月1日に、本社を麻布台ヒルズ森JPタワー（東京都港区）へ移転いたしました。

カーボンニュートラルの実現を目指し社会が重要な転換期を迎える中、当社は基盤事業である石油・天然ガス開発事業とともに、CCS/CCUSを活用した環境対応型事業を展開する「二軸経営」を掲げております。さらに、ENEOSホールディングスの第4次中期経営計画では、当社が所管するLNG事業が事業戦略のひとつの柱に添えられるなど、ENEOSグループにおける当社への期待はますます高まっています。

そのような環境下、全社員の力を最大限発揮できる働く場を再構築するため、本社移転を実施いたしました。新オフィスは、「価値を生み出す場」「つながる場」「来たくなる場」を基本コンセプトに、社員の意見を取り入れて設計されています。また、執務エリアはフリーアドレスとなっているだけでなく、業務内容に合わせて時間や場所を自由に選択できる働き方である「Activity Based Working（ABW）」に活用できるエリアも拡充させることで、クリエイティビティおよびコミュニケーションの向上を図ります。新オフィスで社員一人ひとりが「自分らしく」働きながらプロフェッショナルとしての価値創造を促す環境を整えることで、当社が掲げる二軸経営を加速させてまいります！

問合先　総務部　広報・渉外グループ　保科　hoshina.tatsuro@eneos.com


当社が入居する森JPタワー


油田の原油や地層を展示した
博物館のようなエントランスホール

特集 わが社のスポーツ活動

今回は、スポーツの秋にちなみ、各社のスポーツ活動をご紹介！プロスポーツへのスポンサー、歴史と伝統を誇る部活動、社員の健康促進など、地域とのつながりや社内の一体感づくりにひと役買っています。秋の空の下、あなたも体を動かしてみませんか？

ニチレイ

ニチレイレディス

ニチレイは、日本女子プロゴルフ協会公認トーナメント「ニチレイレディス」を2025年6月20日(金)～6月22日(日)の日程で開催致しました。

会場となる袖ヶ浦カンツリークラブ・新袖コース（千葉県）は、昭和40年開場という歴史と伝統を誇る名門コースになります。自然の造形美を最大限に活かしてレイアウトされた戦略性の高いタフな林間コースを舞台に、女子プロゴルファーの熱き戦いが繰り広げられました。今年は、単独首位からスタートした入谷響プロが2位との4打差を守る通算12アンダーで初優勝しました。



ゴルフゲーム

また、会場では、様々なイベントも実施しました。ゲームの成績に応じてニチレイ商品などの景品をゲットできるゴルフゲームは、大変人気が高く、行列ができる時間帯も…。参加された方は、皆真剣な表情で高得点を狙っていました。

さらにチャリティ活動として、プロトーナメントの高速グリーンが体験できる「チャリティパター」も実施。その他、アセロラドリンクの試飲会も実施し、たくさんのお客様にご利用頂きました。


チャリティパター

大会期間中は暑さ対策として、凍らせた保冷剤も入口ゲートで配布。冷凍庫で凍らせて再度使用できるので、ご来場いただいた方からは、「暑いから保冷剤は助かるね」「家で凍らせてまた使用するよ」などのお声を頂きました。

年末から来年度のトーナメントの準備に入ります。ご来場者の皆さまが安全に楽しくお過ごしいただけるよう準備をしてまいりますので、ぜひ一度遊びにいらしてくださいね。

【ニチレイレディスオフィシャルホームページ】https://www.nichirei.co.jp/golf

カナデビア剣道部の歩み

カナデビア（旧：日立造船）剣道部は、創部約70年の歴史を誇る、伝統ある剣道部です。大阪を創業の地とする当社は、これまでに近畿実業団剣道大会での連覇や全日本実業団剣道大会での3位入賞など輝かしい成績を収めてきました。また、剣道の最高位である範士八段の先生も輩出しています。過去には、主力事業であった造船事業の分離など、厳しい不況の時代もあり、一時は活動が低迷したこともありましたが、諸先輩のご尽力により現在まで活動を続けることができています。

現在、精力的に活動している部員は約30名で、そのうち半数は30代前半までの若手社員です。活動内容としては、毎週土曜日の稽古に加え、若手有志で平日の業務終了後に地域の体育館で稽古に勤しんでいます。社会人の公式試合にも積極的に出場しており、大阪市長杯、大阪府社会人剣道大会、近畿実業団大会、全日本実業団大会など、年間6大会程度に出場しています。2024年度には大阪市長杯で団体3位、大阪府社会人剣道大会で団体3位と個人戦3位、2025年度では大阪府警の日本代表メンバーも出場するオープン大会で敢闘賞（ベスト8）と、様々な大会で数十年ぶりの入賞を果たしました。限られた時間の中で、自ら成長を求め、課題を見つけて工夫する稽古が結果として実を結んでいます。

また、自分たちに剣道を指導してくれた先生方への恩返しと地域に貢献したいという思いから、未来を担う地域の少年少女剣士たちと剣道愛好家を招いた剣道教室、懇親BBQなども実施しています。

カナデビア剣道部をこれまでつないでくださった先輩方への感謝の気持ちを胸に、今後とも「交剣知愛（剣を交えて稽古することでお互いを理解し、交流を深めること）」の精神で広く活動を続けていきます！



大阪市長杯　団体3位



大阪府社会人剣道大会　団体3位



大阪府社会人剣道大会　個人3位



少年少女、剣道愛好家を招いたカナデビア剣道部主催剣道教室

健康応援企業としての取り組み
～部署別歩数対抗戦とSOMPOひまわり体操～



当社は、お客さまの万が一の備えに加え、毎日の健康を応援する「健康応援企業」へのさらなる進化を目指しています。

「健康応援企業」に進化するためには、まず社員一人ひとりとその家族の健康維持・増進が不可欠であるとの考えのもと「健康経営®」を実践しています。

その一環で、社員の健康増進と職場の一体感を高めることを目的に、「部署別歩数対抗戦」を実施しています。この取り組みは、当社が開発した「MYひまわり」アプリで歩数を計測し、部署ごとの平均歩数と参加率を掛け合わせたスコアで競い合います。2025年度第1回は、5月28日から6月8日まで開催されました。

部署単位での参加により、職場でのコミュニケーションの促進やチームワークの強化にもつながっています。昼休みにランチする際はいつもより遠くの店まで歩く、エレベーターを使わずに階段を使うなど、無理のない範囲で運動を取り入れる工夫が広がっています。



また、日常でも気軽に運動に取り組めるように、当社オリジナルの「SOMPOひまわり体操」も開発しました。約3分間の簡単な動作で構成され、業務の合間やミーティング前後に実施することで、心身のリフレッシュと運動習慣の定着を促します。テレワークによる運動不足の解消や、職場のコミュニケーション活性化にも効果を発揮しています。

体操の動画は当社公式YouTubeでも公開しています。興味のある方はぜひご覧ください。

＜当社公式YouTube＞

第一弾　https://www.youtube.com/watch?v=F6hiSnwDdJA
第二弾　https://www.youtube.com/watch?v=E0QgJufkBZ4

今後も、日々の歩行･運動習慣を継続する取り組みを行い、社員の健康意識向上に取り組んでまいります。

※「健康経営®」は、NPO健康経営研究会の登録商標です。

日産自動車公式野球部、15年ぶりに復活！
今夏、22名の若き選手たちが強豪相手に奮闘

1959年の創部から都市対抗野球大会で2度、日本選手権で1度と、計3度の日本一に輝いた日産野球部が、15年の休部期間を経て2025年に復活しました。

チームスローガンは「再翔（さいしょう）」。今年4月1日付けで日産自動車に入社した平均年齢22歳のフレッシュな選手22名が、日々練習に励んでいます。

今年7月から始まった「都市対抗野球大会」西関東予選では、初戦を7回コールドで快勝し幸先の良いスタートを切りましたが、続く強豪・東芝との対戦では、途中、満塁ホームランでスタンドを沸かせたものの、惜しくも6対9で敗れました。

7月17日には、都市対抗本選への切符がかかった第2代表決定トーナメント決勝で、再び東芝と対戦。会場となった横浜スタジアムには、日産の従業員やOBなど約3,200名が駆け付けました。選手たちは、スタンドからの熱い応援を背に、先制点を挙げ果敢にチャレンジしましたが、残念ながら2対7で敗退。新チーム結成時に掲げた「都市対抗野球大会出場」の目標には、あと一歩及びませんでしたが、スタンドの社員からは『諦めず最後まで戦った姿に感動した』『皆で一致団結して応援できたことが嬉しい』などの声も聞かれ、強豪相手に奮闘する選手の姿は、私たち日産社員に一体感と高揚感を感じさせてくれました。

結成からわずか半年で都市対抗野球大会出場まであと一勝という快進撃を見せた若きチームの今後に、さらなる飛躍の期待が高まっています。

日産野球部は、この悔しさをバネに新たな挑戦を続けています。



新ユニフォームに身をつつむ新生日産野球部22名の部員たち。胸にあるのは、バットをつかみ飛翔する青い鳥「ブルーバード」。日産野球部創設の1959年に発売し日本のモータリゼーションを牽引した乗用車の名前にちなんでいます。









プロテリアル　ブルドッグス
地域に根ざし、歴史と情熱を胸にコートを翔ける

プロテリアル ブルドッグスは、茨城県日立市を拠点とする社会人バスケットボールの企業チームです。日本社会人バスケットボール連盟に加盟し、日々の業務と部活動を両立しながら、熱い思いでコートに立っています。

その歴史は1952年、日立電線（当時）の篭球同好会としてスタート。1998年には日本リーグに昇格し、「日立電線ブルドッグス」の愛称で親しまれてきました。企業合併や社名変更を経て、2023年に現在の「プロテリアル ブルドッグス」として新たな一歩を踏み出しました。

チームマスコットのブルドッグには、「ブルドッグのように小さくても粘りのあるチーム作りをめざす！」という想いが込められています。さらに、ケーブル（電線）の“ブル”とも掛け合わせたユニークなネーミングです。

チーム理念は「バスケットボールを通じて良き社会人になろう」。その言葉どおり、選手たちは仕事と練習を両立しながら、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。最近では、2019年に全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップで3位入賞という輝かしい成績を収めました。今年も「日本一のチーム」を目標に、勤務後の限られた時間を活かして練習に励んでいます。

また、プロテリアル ブルドッグスの大きな特徴のひとつが、地域とのつながりを大切にした社会貢献活動です。高校生の交流戦「プロテリアル・フレンドリー・マッチ」の主催、学校やクラブでの技術指導クリニック、地域の清掃活動など、年間10回以上の活動を行っています。

これからもプロテリアル ブルドッグスは、社員の士気を高め、地域社会との信頼関係を築きながら、プロテリアルの企業価値向上に貢献していきます。



「日本一のチーム」をめざして熱い試合を展開



試合前のリラックスした表情の選手たち


交流会ではひたむきな高校生のプレーに選手たちも刺激をうけました



あこがれの選手から直接指導を受けられるクリニックは大人気イベントです

「剣縁」日立鉱山での創業当時から続く剣道を通した取り組み

剣道は当社が日立鉱山（茨城県）での創業当時より長年にわたり取り組んできた競技です。

日立市内にある当社剣道場の日鉱斯道館は1934年に建設されました。日立鉱山には幾つかの武道場がありましたが、日鉱斯道館は現存する唯一の道場となり、今も当社剣道部の他、地域の剣道愛好家や子供達の鍛錬の場として利用されています。

また、日立鉱山の守り神を祭る山神社の祭礼『山神祭』では、その構成行事の一つに奉納剣道大会があります。こちらも創業当時から続く当社行事で、今年も地域の園児から高校生まで総勢約100名の少年少女剣士が日頃の鍛錬の成果を競いました。

当社では2022年から剣道を会社の企業スポーツとして改めて位置づけ、剣道部の活動体制の強化を図っています。日本剣道界屈指の指導者である剣道範士八段の石田利也氏を師範としてお迎えするとともに、港区虎ノ門の本社に隣接するビルの地下2階に約230 m^2の剣道場を開場いたしました。剣道部員は業務と剣道の両立を前提としながら、全日本実業団大会でも上位進出できる強豪チームとなることを目指し、本道場にて就業前の朝稽古・退勤後の夕稽古に励んでいます。

また、港区や製造拠点のある地域を中心とする多くの剣道関係の皆さまと緊密に連携させていただき、合同稽古会や子供達を対象とした剣道クリニックの開催等の協力を行っています。

当社は今後も剣道部の強化に取り組むことはもとより「剣道の持つ価値」を通した地域貢献や次世代育成の取り組みを積極的に推進してまいります。

筆者　剣道部主将　関口純平



歴史と風情あふれる日鉱斯道館



日立市内での山神祭 奉納剣道大会（日立武道館（旧共楽館））



石田師範と剣道部による子供剣士向けクリニック兼合同稽古（虎ノ門剣道場）



9月の全日本実業団剣道大会には総勢374チームが出場。当社からは本社・倉見・日立の3チームが参戦し本社チームはベスト32に進出



そろそろ結婚をとお考えのみなさま
結婚適齢期のご家族をお持ちのみなさまへ



春光懇話会ファミリークラブ

春光グループのみなさまの“結婚相談所”です

●入会手続きは簡単です。まずは資料請求を!!

●春光懇話会ホームページにアクセスしてみてください。

安心できる出会いを提供します。

安心その1
運営は、春光会とそのグループ会社で構成する春光懇話会です。

安心その2
会員を春光グループに関わる方に限定しています。

安心その3
春光グループ各社からの維持会費で運営していますので、会員個人の負担は、入会時の１万円と成約時の７万円です。

安心その4
資金面などで各社との関係は密接ですが、会員個人のプライバシーは絶対厳守です。当然、会社にお知らせすることは一切ありません。

安心その5
入会から、お相手の紹介、お引合わせ（お見合い）、交際、結婚のご意志確認まで、女性カウンセラーが、会員の意思を尊重しながら、親身になってお手伝いします。

●入会から成約までのステップ

資料請求 ➡ 入会手続き ➡ カウンセリング ➡ お相手紹介 ➡ お見合い ➡ 交　際 ➡ 成約、ゴールイン



営業日の変更のお知らせ

2023年４月から春光懇話会ファミリークラブの営業日が以下の通り変更となります。
会員のみなさまには、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

営業日時：火曜日・水曜日を除く平日および土・日曜日
（午前10時～午後5時）

休　　日：火曜日・水曜日と土・日曜日以外の祝日
（毎週火曜日に加え、毎週水曜日も休日に変更となります）



春光懇話会ファミリークラブ

〒160-8330　新宿区西新宿2-2-1
京王プラザホテル南館9階
TEL&FAX 03(3344)0410
www.shunko.jp/family/family.html

●春光懇話会ファミリークラブは、春光会22社とそのグループ会社89社が支えています。

営業部会だより　詳しくは営業部会HPをご覧下さい
https://www.shunko.jp/eigyo/eigyobukaitop.html

2025年10月~12月
第26回春光懇話会キャンペーン展開中!

春光懇話会営業部会の「ビジネス交流強化キャンペーン」は今年で26回目を迎えました。これもひとえに皆さまの温かいご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

第26回キャンペーン活動では昨年と同じく営業部会会員集合して合同展示会、決起大会・懇親会を実施しました。

合同展示会では会員各社が商材PRを行うことで、お互いの会社を改めて知る機会になりました。また、決起大会では営業部会会員が親睦を深めることができ、営業部会活性化につながっています。今後も営業部会活動を前進させていく所存ですので引き続きご支援方、よろしくお願いいたします。



キャンペーンは大きく以下の3点を主眼にして取り組んでいます。

①会員企業間でお互いのビジネス拡大を図ること
②会員企業の商品を数多くご利用いただき、その良さを知っていただくこと
③グループ企業の従業員とご家族の皆さまに広く春光懇話会を知っていただくこと

第26回キャンペーンの具体的な取り組みは次の通りです。

1. 春光会ホームページに会員企業が希望する商品などをタイムリーに掲載していただけますので自社商品の販売拡大のため、積極的なご活用をお願いします。
2. 春光懇話会を多くの方に知っていただく目的で今回も春光クイズを実施しました。
   クイズに関しましては12月初旬に抽選会を行い、当選者には年内に賞品をお届けします。お楽しみにお待ちください。
   今後もキャンペーン時にクイズ応募を実施する予定ですので引き続きご応募をいただきますようお願いします。

営業部会だより　詳しくは営業部会HPをご覧下さい
https://www.shunko.jp/eigyo/eigyobukaitop.html

合同展示会・キャンペーン決起大会開催

第26回キャンペーンスタートに当たり、2025年9月17日(水)に合同展示会、キャンペーン決起大会を上野イーストタワーにて開催しました。

合同展示会は11時30分から16時まで開催し、春光懇話会会員各社を中心に約160名超の来場客がありました。展示会では18社が出展し商材PRを行いましたが（今年は出展18社以外にパンフレットのみの参加企業・団体でさらに18社のブースを展開しました)、改めて会員各社を良く知る機会になり、相互理解が深まりました。今後はさらにお互いの商談に繋がって来るものと期待しております。

続けて合同展示会後には16時30分からキャンペーン決起大会を同会場で行いました。決起大会ではNIPPOの朝長キャンペーン実行委員長ご挨拶の後に4社からの企業PRを行い、最後にキャンペーン成功への意思結集を参加者全員で行いました。

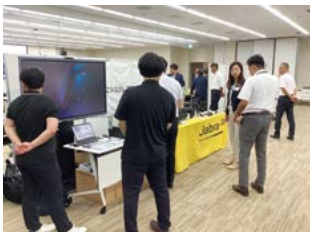
その後、約60名が参加し、懇親会を行いました。懇親会ではサッポロビール社提供のオリジナル缶ビールの抽選会等を行い、大きな盛り上がりの中、会員同士でビジネス交流ができました。

営業部会ではキャンペーンに加えてビジネス協業会を活用して会員間のビジネス交流が盛んになっており、多数の連携案件(協業)が出ています。今後も新しいメンバーの加入や新加入会社の増員も図り一層の営業部会活性化を図っていきたいと思います。当該取り組みによるビジネス協業拡販へ興味のある皆さまはぜひともお問い合わせを頂きたいと存じます。

合同展示会










キャンペーン決起大会


挨拶
朝長キャンペーン実行委員長


全員確認事項
石原幹事




企業PR
日産自動車



企業PR
サッポロビール

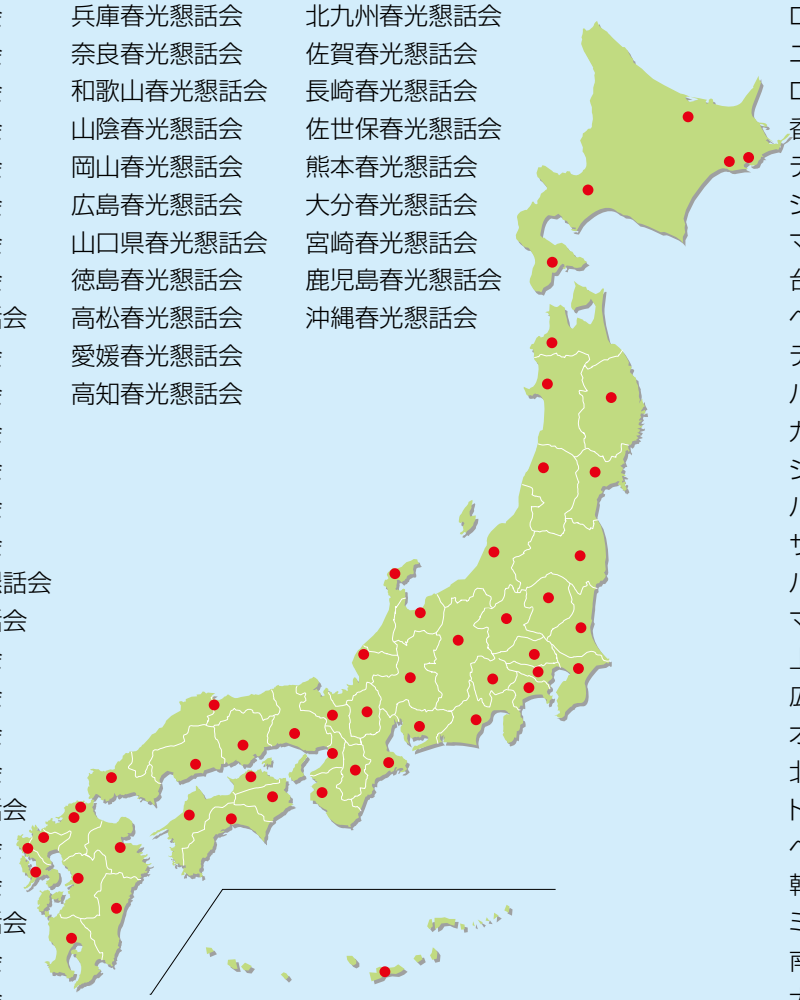

企業PR
マクニカ


企業PR
日立ドキュメントソリューションズ

地域春光懇話会　MAP

国内　52 か所

札幌春光懇話会
函館春光懇話会
釧路春光懇話会
北見春光懇話会
十勝春光懇話会
青森春光懇話会
盛岡春光懇話会
仙台春光懇話会
秋田春光懇話会
山形県春光懇話会
福島春光懇話会
茨城春光懇話会
栃木春光懇話会
群馬春光懇話会
埼玉春光懇話会
千葉春光懇話会
東京多摩春光懇話会
神奈川春光懇話会
信州春光懇話会
山梨春光懇話会
新潟春光懇話会
石川春光懇話会
富山県春光懇話会
福井春光懇話会
岐阜春光懇話会
静岡県春光懇話会
愛知春光懇話会
豊橋春光懇話会
三重春光懇話会
大阪春光懇話会
京滋春光懇話会
兵庫春光懇話会
奈良春光懇話会
和歌山春光懇話会
山陰春光懇話会
岡山春光懇話会
広島春光懇話会
山口県春光懇話会
徳島春光懇話会
高松春光懇話会
愛媛春光懇話会
高知春光懇話会
福岡春光懇話会
北九州春光懇話会
佐賀春光懇話会
長崎春光懇話会
佐世保春光懇話会
熊本春光懇話会
大分春光懇話会
宮崎春光懇話会
鹿児島春光懇話会
沖縄春光懇話会



海外　28 か所

シンガポール春光懇話会
ロンドン春光懇話会
ニューヨーク春光懇話会
ロサンゼルス春光懇話会
香港春光懇話会
デュッセルドルフ春光懇話会
ジョージア春光懇話会
マレーシア春光懇話会
台湾春光懇話会
ベネルクス春光懇話会
デトロイト春光懇話会
パリ春光懇話会
カナダ(トロント)春光懇話会
ジャカルタ春光懇話会
バルセロナ春光懇話会
サンフランシスコ春光懇話会
バンコク春光懇話会
マニラ春光懇話会
上海春光懇話会
広東春光懇話会
オーストラリア春光懇話会
北京春光懇話会
ドバイ春光懇話会
ベトナム春光懇話会
韓国春光懇話会
ミャンマー春光懇話会
南アフリカ春光懇話会
大連春光懇話会



●春光会会長
○就任
村山　誠一（ＪＸ金属）
○退任
川村　　隆（日立製作所）

●春光会副会長
○就任
東原　敏昭（日立製作所）
イヴァン エスピノーサ（日産自動車）
○退任
松下　功夫（ENEOSホールディングス）

●春光会幹事
○就任
柳井　隆博（三菱ＨＣキャピタル）
○退任
川部　誠治（三菱ＨＣキャピタル）

●春光会
○退会
小島　啓二（日立製作所）
浜田　晋吾（ニッスイ）

●春光懇話会会長
○就任
村山　誠一（ＪＸ金属）
○退任
川村　　隆（日立製作所）

●春光懇話会副会長
○就任
東原　敏昭（日立製作所）
平野耕太郎（日立建機）
柳井　隆博（三菱ＨＣキャピタル）
○退任
松下　功夫（ENEOSホールディングス）
川部　誠治（三菱ＨＣキャピタル）

●春光懇話会会員会社
○本社移転
・日立プラントサービス（25.8.18）
〒110-0015　台東区東上野2-16-1 上野イーストタワー 8階、11階、12階
☎03（6386）3001
・ENEOS　Xplora（25.9.1）
〒106-0041　港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ森JPタワー 9階
☎03（6257）6000

わが社と町並み　日産自動車　栃木工場

豊かな風土とともに歩む、未来を見据えたものづくり


日産自動車　栃木工場

栃木県南東部に位置する上三川町は、今年、町制70周年という大きな節目を迎えました。鬼怒川や田川の清流に恵まれ、どこか懐かしい豊かな田園風景が広がるこの町は、歴史と自然が調和した暮らしやすい町です。日産自動車栃木工場は1968年の操業開始以来、地域の皆さまに支えられながら、半世紀以上にわたり自動車づくりを続けてきました。フラッグシップEVの「日産アリア」やスポーツカーの「フェアレディZ」といった日産を象徴するモデルを生産しています。

当工場の特徴は、革新的な生産技術で次世代のクルマづくりを実現するコンセプト「ニッサン インテリジェント ファクトリー」の導入です。AIやIoTを活用した自動化ラインでは、匠の技を伝承したロボットによる最高品質の量産、人とロボットが共生する誰でも働きやすい職場を実現。さらには、工場全体のエネルギー効率向上や再生可能エネルギーの活用によるCO_2排出量の削減など、脱炭素社会に向けた取り組みも加速しています。


エネルギー効率を上げた塗装工程

今年度は、先進の電動化・コネクテッド技術を搭載した新型「日産リーフ」の生産が本格的に始まりました。最先端の技術と環境性能が両立したクルマを世界中へ届けることで、次世代モビリティ社会の発展に貢献していきます。

また、工場周辺の清掃活動や地元の学校との交流、町のイベントへの協力、防災訓練への参加などを通じた、地域社会とのつながりも大切にしています。町制70周年を迎えた上三川町とともに、これからも町の暮らしに寄り添いながら、未来を見据えたものづくりと地域への貢献を続けていきます。



上三川町おこし夏祭り

日産自動車　栃木工場　栃木県河内郡上三川町上蒲生2500

春光懇話会会報 Wave21
第194号　2025年11月発行
●編集兼発行人／春光懇話会事務局長　新野　聡
●発行所／〒100-8220　東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル11階　春光懇話会事務局
☎03（4235）6266　FAX03（4235）6267　https://www.shunko.jp
●印刷所／株式会社新寿堂　●レイアウト／エフ・スタジオ